

英語検定・漢字検定・数学検定の3大検定対策を
毎日の長時間自己学習にどんどん入れ、すべての合格を果たそう

開倫塾
塾長 林明夫

1. 英語検定・漢字検定・数学検定の3つの検定に合格するための学習は、各教科の基礎学力と応用力を大幅に伸ばします。学校での成績向上と希望校合格、就職や社会に出てからの活動にも役に立ちます。
2. そこで、開倫塾は英語検定・漢字検定・数学検定の3つの検定を「開倫塾の3大検定」と名付け、全塾生受験、全塾生合格を目指しております。
*以下、英検、漢検、数検と略します。
3. 特に、本年に創立35周年を迎える開倫塾では、個別指導の塾生も含め、小1生から高3生までの英検・漢検・数検の3大検定の全塾生受験、全塾生合格を2014年度の基本方針とし、4月から開倫塾を挙げて全面的に取り組んでおります。
4. そのため、毎日の長時間自己学習の時間には、必ず3大検定合格のための学習を年間を通して行っていただきたいと強くお願いいたします。
5. 理科や社会の学習でも、教科書に出てくるすべての英語や漢字は完全に読めて、書けるようにすることが大切です。理科や社会の教科書に出てくる計算も完全にできるようになるまで練習することをお願いいたします。
6. 3大検定合格のための学習は、理科や社会をはじめすべての教科の基礎・基本となります。3大検定合格者は、理科や社会の学力も高くなります。
7. 塾生は、開倫塾が配付する3大検定の教材をすべてスミからスミまで、何回も、何回も繰り返し学習してください。
8. 1回や2回では、教材の内容は正確に身に着きません。最低でも5～6回は同じ教材を繰り返し学習することが、スミからスミまで正確に身に着けるコツ、つまり、3大検定合格の秘訣です。
9. 書店では、3大検定の参考書や問題集がたくさん販売されています。自分にふさわしい参考書や問題集を購入し、どんどん取り組むことも大切です。書店で購入した教材も最低5～6回は繰り返ししてください。
10. このように、英検・漢検・数検の3大検定対策には遠慮は一切不要です。ただし、どんな場合でも、同じ教材を5～6回は必ず繰り返し学習し、スミからスミまで全部、正確に身に着ける、すべて覚え切ることです。

11. 自分の実力を上げることが受験の目的ですから、学力が不足している科目は学年相応級の何段階か下の級から挑戦すること、これも大事です。全く歯が立たない級の受験は絶対にしないことです。
12. 自分の実力に合った級から挑戦すること。合格したら、その次の級に挑戦すること。1年間に2～3の級に挑戦し、自分の学年相応級に1日も早く挑戦することを夢見ることです。この夢は必ずかないます。
13. 学年相応級に合格したら、次の級に挑戦して実力をどんどん伸ばすこと。遠慮は一切不要です。
14. 現在、中3、高1、高2の皆さんは、3大検定を大学入試だと思ってひたすら学習しましょう。とりあえず、高校2年生の3学期中に英検・漢検・数検の3大検定のすべてで「2級」に合格を果たすことを、身近な目標とすることをお勧めします。
15. 開倫塾では、学力を身に着けることは「多様な選択肢のある人生を歩む」うえで必要不可欠と考えます。3大検定3級合格が高校入試の受験生を別世界に導くのと同様に、3大検定2級合格は大学入試の受験生を別世界に導きます。
16. 3大検定に毎学年1～2級ずつ挑戦して合格を果たし続けることは、学力を身に着けるうえで大きな効果をもたらします。中学校だけでなく高校でも、3大検定は学校の定期試験対策、実力試験対策、入試に向けての業者模試対策、希望校合格に直結します。
17. 首都圏の有名進学私立中高一貫校では、中学3年生までに漢検2級合格を果たし、高校での学習や大学入試の学習を一日も早く開始することに役立てようとしています。
18. 漢検2級は高校卒業程度ですので、高校入学前に、高校の各科目の学習で使われる漢字が読めて、書ければ、圧倒的に有利です。大学入試にも有利であることが明らかです。
19. 中学3年生で英検2級や準2級に合格することも、全く同じことを意味します。
20. 将来、難関高校や難関大学に進学したいのならば、がんばって学年相応級の数検を確実に取得し続けることが最も有効です。
21. 自分の未来は自分で切り開く。長時間自己学習、ハードな学習を自主的にして、自分の未来は自分で切り開く。このような学習態度が大切です。そのために、開倫塾はできる限りの支援をいたします。がんばりましょう。
22. 開倫塾の塾生は3大検定の受験が義務事項となっています。中3生の塾生全員は12月6日に数検の実力相応級を受験してください。中3生と高3生以外の塾生は全員が1月24日の英検、2月8日の漢検、3月6日の数検の実力相応級を受験してください。